Sanriku-geopark
さんりくジオだより
第９１号
令和５年４月号
三陸ジオパーク推進協議会

南部ブロックでの活動報告

《けせんジオツアー》
気仙地域協議会主催

南部ブロックのけせん地域協議会では、大船渡市・陸前高田市・住田町の３市町によるけせんジオツアーを開催。久しぶりのバスツアーの募集には当初予定していた人数を上回る申し込みがあり、大型バスに変更し増員対応にて催行されました。

当日はあいにくの雨でしたが、ガイドさんの同行がないと入れない旧気仙中学校の校舎内を案内いただきました。大船渡湾港防波堤の説明では、大船渡温泉ホテルのロビーをお借りしましたが、中沢浜貝塚では現地に降りず学芸員さんがバスに乗りこんで解説してくださいました。

陸前高田市立博物館では、文化財レスキューの話もあり、こういった機会があると被災した文化財に対しても関心が持たれます。

ジオガイドの千田さん
バス車内も楽しく

〈せき坊〉にも会えたよ！

気仙川にかかる水門は県内最大級

目の前は大船渡湾！
佐藤ジオガイドのデビュー

昼食をいただいた長洞元気村は
地域の皆さんで運営してます

《ガイド交流＆研修会》
大槌町にて開催

おっしゃっちの広場から
見える山の高さに注目

地質図を手に、現地を見て
わかることに「なるほど！！」

３月３０日には、南部ブロックの関係者を中心とした交流研修会が実施されました。大槌町のジオサイトと地域の歴史を伊藤ジオガイドから説明を受け、実際に現地をまわり、そしてワークショップの実施と盛りだくさんのメニューでした。

大槌駅から徒歩圏内にジオを楽しめる要素がたくさんあり、湧水の希少性や吉里吉里善兵衛さんの話などもとても興味深いです。

陸前高田市立博物館もガイド付きがgood
入ってすぐの大地の歴史コーナーにて

高田の砂浜はこうして生まれた

この大地は、潮風、高潮、飛砂等の被害が多く、食料の安定生産や生活環境には至難な土地でした。しかし、急峻な山々に囲まれた当地域、気仙地方は海岸平野の利活用が大変重要な課題でした。
事実、立神浜と呼ばれた昔の高田松原は潮風が絶えず砂塵が吹き上げ、耕地は埋没荒廃し、作物が収穫皆無の年もしばしばありました。
高田松原を守る会 (takatamatsubara-mamorukai.jp)　より一部引用

現在は一本松が有名になりましたが、高田松原は震災の前から「日本百景の一つ」など名の知れた景勝地でした。約７万本に及ぶ松林はどのようにしてできたのでしょうか？その背景には長い時をかけて大地の活動がつくり出した高い山と川によってできた三角州や、厳しい環境に対応するために当時の人々による多様な取り組みがありました。

平成２９年より松苗の植樹が本格的にスタートしましたが、松が元の高さまで育つには50年以上かかると言われています。

令和5年度 三陸ジオパーク推進協議会総会を開催

広大なエリアを持つ三陸ジオパークでは、毎年の総会の開催も関係者の人数が多いのでイベントと同じような事前準備をして臨みます。特に今年度は再認定審査の年となりましたので、出席者のみなさまからの意気込みが感じられる総会となりました。

新コーナー開始！　「もーりぃ　の　さんりくジオ話」

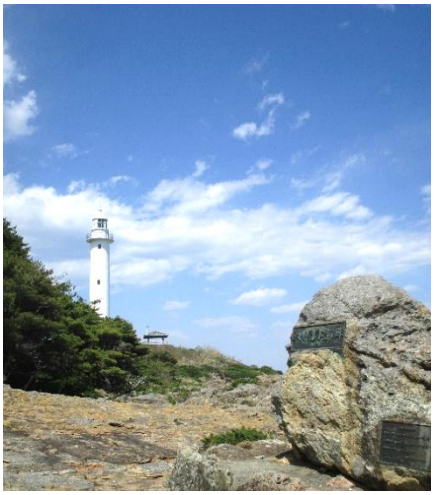
三陸ジオパーク専門員の盛合秀がお届けします

新しく三陸ジオパーク事務局に配属となりました。

将棋の藤井聡太さんのファンです

　さんりくジオだよりをご覧の皆さま、初めまして。
私は、4月から三陸ジオパーク推進協議会にてジオパーク専門員として勤務しております盛合　秀（もりあい　しゅう）と申します。本号からコラムを担当することになりました。どうぞよろしくお願い致します。

　私は宮古市出身で、宮古高校を卒業後、弘前大学・大学院にて地質学・岩石学を専門に研究を行ってきました。研究内容は三陸ジオパークのお隣、下北ジオパークの代表的なジオサイトの一つである「仏ヶ浦」とその周辺をフィールドに、地質年代及び層序の再検討と前期鮮新世（約440万年前ごろ）に活動したと考えられるカルデラ（大規模な火山活動によって山体が陥没した地形）の存在（仏ヶ浦カルデラ）を新たに提唱するというテーマで研究を3年間行っておりました。



ジオサイトの毦ヶ崎に行ってきました

趣味はスポーツ観戦や御朱印集めです。最近ではWBCの開幕戦を観戦し、大谷翔平選手の二刀流を生で見ることができ、一生の思い出ができました。また、三陸ジオパークのエリア内には三陸三十三観音霊場（一部はエリア外）のほか、多数の寺社が存在しているため、できるだけ多くの寺社を参拝し、御朱印を集めたいと思っています。

　三陸ジオパーク推進協議会に配属されてまだ間もないため、三陸ジオパークの地質・地形・文化等についてまだまだ知識不足・勉強不足のところはありますが、皆様とともに勉強しながら、地質学・岩石学の専門知識を活かして、三陸ジオパークの推進に貢献できるよう努力してまいります。

久慈北にオープンした　道の駅　北三陸

今年度の新任担当者研修会の講師を担当しました

　今後は三陸ジオパーク推進協議会の主催行事の内容や、各ジオサイトの魅力について自分なりに解説させていただきたいと思います。拙い内容ではあると思いますがご一読いただけると幸いです。また、次号でお会いしましょう。

編集後記：今年度の総会と市町村担当者会議も無事に開催し、いよいよ各地域協議会でも活動が始まります。なんといってもこの春のトップニュースは、待望のジオパーク専門員が三陸ジオにお目見えしたことです！　ということで、早速自己紹介を兼ねた原稿を１ページを書いてもらいましたので、一面スペシャル版でお届けしました。
事務局でも、こころなしか安心感があるような気がします。人数的には変わりませんが、新しい風と共に１０年目の三陸ジオパークをよろしくお願いいたします。　～と～

三陸ジオパーク推進協議会
〒027-0072
岩手県宮古市五月町1－20
（宮古地区合同庁舎2階）
TEL:0193-64-1230
FAX:0193-64-1234
info@sanriku-geo.com
https://sanriku-geo.com/
facebookはこちら！